

ヨコハマ想い vol.115

俳優／歌手  
**加山 雄三さん**  
Kayama Yuzo

1937年、横浜市生まれ。父は俳優の上原謙、母は女優で美容体操家の小桜葉子。8歳の時、叔母の弾いていた「バイエル74番」を指の動きを見ただけで弾けるようになる。14歳で専属女作『夜空の星』を作曲。大学卒業後、60年に東宝へ入社し俳優デビュー、翌年歌手デビュー。日本におけるシンガーソングライターの草分け的存在であり、作曲家、ギタリスト、ウクレレ奏者、ピアニスト、画家としても活躍。

## 「横浜生まれなんだ」

俺、横浜生まれだって知ってる? 神奈川区の、幸ヶ谷の丘の上。俺がお腹中にいる時におふくろが「この子には太平洋のように心の広い人間になってもらいたい」と願いながら、丘の上から海を見ていたんだってさ。外国船がいっぱい入ってくる港を。1歳になる前に引っ越してしまったけど、不思議なことに小学校に上がってから、やたらと横浜の港に行きたくて。おばあちゃんに連れられて横浜によく船を見に来たんだ。船の写真を撮って、絵が好きだからそれを絵に描いたりしてね。

高校は慶應。当初は慶應義塾高校と日比

谷高校、二つ受けようと思っていたんだけど、日吉に見学に行ったら環境が良くて、受験するのは慶應だけにしようと決めた。そうしたらおやじが「ばかもん! 一つだけなんて、万が一落ちたらどうするんだ!」って言うから「万が一なんて思うからだめなんだよ!」って俺も偉そうに言い返して。絶対に俺はかかる、心配してくれるなって。

### 慶應の優勝に涙

それからはもう勉強に次ぐ勉強。よく覚えているのは受験当日、英語の試験直前に「not only~but also~」という熟語を確認してテキストをしまい、問題用紙が配られてパッと見たら第一問目がまさにその問題で

日本の「若大将」、海の男・加山雄三さん。音楽、料理、絵画……さまざまなことに興味を持ち、その全てが一級品の腕前。「俺の歌や料理で誰かが笑顔になる。それが俺の最高の幸せ」だという。いくつもの困難を乗り越え生き抜いてきた、海のようなスケールを持つ加山さんにお話を伺った。

「これはもう、俺は絶対に受かる!」と確信した。自信満々ださ。

慶應の仲間で作った「カントリー・クロップス」というバンドがあって、何年か前、慶應義塾大学のイベントで演奏したこともあった。この時はまだ全員元気にそろっていて、すごく練習していたからいい演奏ができた。次に控えていたダークダックスの皆さんに「君たち、やるねえ」なんて褒められて。卒業してからも日吉にはそんな思い出があるね。

今年、甲子園で慶應が優勝。よくやったよね。優勝は107年ぶりだからね、俺にとって初めてのことだった。テレビを見ながら俺も校歌を歌って、涙が溢れた。涙、涙だったよ。

### 最後のステージは「海」

20年ほど名誉船長を務め、「若大将クルーズ」と銘打ってお客様とかけがえのない時を過ごしてきた大型船「飛鳥」と「飛鳥II」。昨年12月、大さん橋から出航する飛鳥IIを歌の最後のステージと決めた。人前で歌うのはこれでおしまい、きっちとけじめをつけるんだと。その舞台に飛鳥IIを選んだのは、やっぱり俺は海で終ろうと思ったから。海は俺の人生そのもの。その後、紅白歌合戦からオファーがあり、結局それが最後のステージになったのだけど。音楽をやめたわけではなく、今も曲は作っているよ。多重録音の機器を使ったりしてね。音楽は生涯の親友だ。

今年の夏の若大将クルーズは竹中直人くんが歌ってくれて、俺はザ・ワイルドワンズと一緒にトークショーをさせてもらった。俺が今まで書きためてきたレシピで作ったビュッフェもあって、いいクルーズだったよ。

### 食べることを楽しんで

小学生のころ、砂浜で貝をバケツいっぱい拾つたらおふくろに「こんなにたくさん、どうするの?」と怒られて。だから俺がお湯を沸

かして貝を全部ゆでて、みりんと醤油と酒で味付けして佃煮を作ったんだ。それをおやじが「うまいねー、これは!」って喜んでくれて。それが俺の料理の原点。その後、料理好きになつたのは、家族のために一生懸命料理を作ってくれたおふくろの影響もあるだろうね。

子どもたちが小さかったころ、前日仕事でどんなに遅くなっても朝食は全員そろって食べるようになっていた。子どもたちを見送ると、俺はまた寝るんだけど(笑)。食事を大切にしてきたことは、今立派に成長した彼らを見ると役に立つたなと思うよ。今も、時々娘や息子たちが来て一緒に食事をするよ。健康であればこれからもこんな楽しみがある。相棒もいるから、今日は何を食べようかなんて相談して、そんな楽しみもある。相棒って、女房だよ。

食べることは最高の喜び。どうしたらおいしくなるかと工夫して、それを友人知人にふるまって「おいしい!」と喜んでもらえるのが何よりうれしい。わが家でも、俺の船「光進丸」でもそうだった。中でもよく作った料理、好評だった料理のレシピが一冊の本になった。どの料理も俺の自信作。

本を手に取って、ぜひ作ってみてほしい。誰かが喜ぶ顔を思い浮かべると、おいしい料理が作れるよ。

#### ■食べた人が笑顔になるそれが最高の喜び

『幸せの料理帖』  
加山雄三 著  
(KADOKAWA)  
1,870円(税込)



#### ■加山雄三

銀座ギャラリー  
(2024年4月まで)  
火、水定休  
入場無料  
<https://shop.kayamayuzo-gallery.com>

『幸せの料理帖』はお近くの読売新聞販売店で購入できます。代引きでお届け!

締 11月15日(水)※11月末頃お届け

ロイヤルハウジンググループは  
地域に密着した  
最高品質のサービス  
のご提供をお約束します!

主に60歳以上の方の住まいの窓口、  
介護保険利用、医療サポートが必要な方でもご相談できます。  
母体は49年目のロイヤルハウジンググループです。



横浜新都市ビル(そごう横浜店)  
9F 市民フロア  
〒220-0011 横浜市西区高島2-18-1  
TEL.045-465-2611 営業時間 10:00~20:00

\*市民フロアの各ショップはそごう横浜店の各種サービス対象外となります。\*営業時間は店舗により異なります。  
詳しくはホームページをご確認ください。

#### 老人ホーム紹介センター ロイヤル介護 入居相談室

TEL. 0120-58-6186

有料老人ホームの相談窓口です。  
多種多様のホーム(施設)から  
その方に合うホームを見つけます。

住まい+介護(元従事者)、  
プロの相談員が在籍して  
います。  
安心してご来店ください。



#### よくあるお問い合わせ

- すぐ入居できるホームを探したい。
- 夫婦で入れるホームを探したい。
- 予算内で収まるホームを探したい。

#### 公共住宅賃貸募集センター

TEL. 0800-123-6186

人にやさしい住まいを。  
UR賃貸住宅、神奈川県住宅供給公社、  
横浜市住宅供給公社をご紹介いたします。

横浜のことは  
私達にお任せください。  
旬の情報を  
お届けします。



#### よくあるお問い合わせ

- 生活保護を受けているのですが、  
入居できますか。
- 申込資格について。
- 契約時に必要な費用について。

#### サービス付き 高齢者向け住宅募集センター

TEL. 0800-888-6186

お元気な時でもご入居頂ける、  
有料老人ホームや、サービス付き  
高齢者向け住宅をご提案しております。

最初のご相談から実際  
のお住み替えまで何年も  
かかる方、色々見学されて、  
結局今いるご自宅を選  
ばれる方もあります。  
お気軽にご相談ください。



#### よくあるご相談

- 介護にならない生活を送りたい。
- 元気なうちに、介護になった時に備えたい。
- 遠方に住む両親を近くに呼びたいけど、  
介護施設だとまだ早い…。